

ソーシャルイベント研究会レポート（8月23日）

■日 時 平成26年8月23日（土）13:00～15:30

■会 場 「3×3 Labo」（サンサンラボ）
東京丸の内「富士ビル」3階

■内 容

「サマースペシャルサロン@丸の内&東京湾」

第一部：8月のソーシャルイベント研究会 13:00～13:45

ケーススタディ

「大丸有エリアのコミュニティ活動」

プレゼンター／澤内隆



第二部：まち歩きイベント研究会 14:15～15:30

「船のサロン@東京湾」

第三部：懇親会 16:00～ 新丸ビル7階 丸の内ハウス（テラス）

■出席者 11名

座長：小林政則（イベント支援ネットワーク）

井田和広（スカイランタン研究会）、内田なお子（昭栄プリント）、大根田利夫（ダーツ）、

加藤淑子（エンコーポレーション）、小西甫正（オーイーエヌパートナーズ）、

澤内隆（帝國書院/文教大学）、佐藤政廣（関東化染工業所）、田中滋（DEN&A Inc）

[オブザーバー]

稲垣勝啓（プランニングフィールド）＊第二部のみ、河村邦泰

■第一部：ケーススタディ

「大丸有エリアのコミュニティ活動」

プレゼンター／澤内隆

（概要）

「1000年続くまち」を目指して、昭和・平成のビジネス街から未来に向かうサスティナブルコミュニティをコンセプトにした再開発が進められている大丸有エリア（大手町、丸の内、有楽町）の環境・CSR活動について、その拠点の一つである「3×3 Labo」（サンサンラボ）を会場にプレゼンテーションを行った。



「3×3 Labo」は、3R、3rd place、Laboratory の頭文字で、大丸有エリアの環境共生型まちづくりを目

指すシンクタンク「エコッツェリア」が主体となって運営するコミュニティスペース。建て替え予定のビルの空きスペースを活用して、各種セミナーや展示、シンポジウムなどを開催。会員登録した企業や団体、個人が利用でき、各種の情報発信が行われてきた。

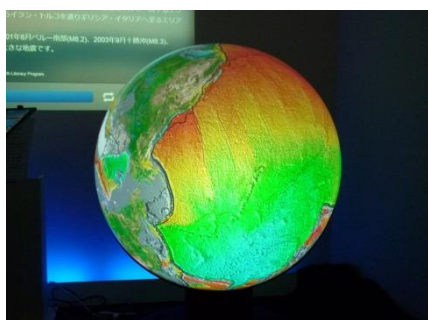
（丸の内の「富士ビル」内にて展開されていた「3×3 Labo」は2014年8月末で終了。新たな計画は未定）

・「エコッツェリア協会」<http://www.ecozzeria.jp/about/>

●「3×3 Labo」のゾーン紹介

エキジビションゾーン『触れる地球ミュージアム』

文化人類学者の竹村真一氏がプロデュースする『触れる地球ミュージアム』。球体のディスプレイに、船舶や航空機の分布図などを準リアルタイムに表示したり、クロマグロの回遊や渡り鳥の飛行ルート、海中プランクトンの分布状況など、様々な情報を映し出すことが可能。



ミーティングスペース

登録会員による個人利用やセミナー等でのグループ利用が可能なスペース。壁面には楽しいペインティングが施され、取り壊しが決まっているビルを有効に活用している。



おやすみ処（古民家）

解体した古民家を再現したおやすみ処。ビルの内部に純和風の空間が広がっている。



■第二部：「船のサロン@東京湾」

(概要)

日本橋の双十郎棧橋より、東京湾クルージングの周遊船「NANO 2号」に乗船し、日本橋エリアの歴史の紹介や、海から眺める 2020 東京オリンピック・パラリンピックの選手村予定地などを見学した。

※協力：東京公園協会水辺ライン公認リバーガイドの稲垣勝啓さん



「サマースペシャルサロン」の開催を記念して、佐藤政廣（関東化染工業所）会員より参加者にオリジナル手ぬぐいをプレゼント。佐藤会員、ありがとうございました。

■第三部：懇親会

16：00 より、東側は東京駅舎、西側は皇居と富士山を一望にできる、新丸ビル7階の「丸の内ハウス」（テラス）にて懇親会を実施。 ※任意参加



以上